

2023年度 修士課程入学試験（秋期）

試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

必ず記号で解答すること。記述にて解答した場合は採点されません。

I.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題 1】

古代オリンピック発祥地ギリシャのオリンピアで聖火を採火し、松明の形で開会式会場まで運ぶ「聖火リレー」が、オリンピックで初めて実施されたのは、1936 年の（ 1 ）大会からである。

ア. アテネ イ. パリ ウ. ベルリン エ. ロンドン

【問題 2】

1905 年、早稲田大学野球部は、日本の野球チームとして初めて（ 2 ）遠征を行なった。

ア. アメリカ西海岸 イ. 韓国 ウ. 上海 エ. 台湾

【問題 3】

体育授業の設計段階における教材づくりでは、設定する学習内容や学習者の発達段階に応じて、素材としての運動やスポーツを（ 3 ）する手続きが求められる。

ア. 開発 イ. 再構成 ウ. 選択 エ. 提供

【問題 4】

体育科教育学は、よい体育授業を創造していくための諸条件を究明していく学問領域であり、（ 4 ）論や学習指導論、教師教育論が主な研究対象としてあげられる。

ア. 学習形態 イ. カリキュラム ウ. 教材 エ. 評価

【問題 5】

18 世紀以降、イギリスで醸成されたスポーツは、19 世紀半ば以降、子どもたちの（ 5 ）に有効な教育手段として認められるようになった。

ア. 競技者育成 イ. 人格形成 ウ. 体力づくり エ. 人間関係づくり

【問題 6】

日本の体育における人間形成の変遷をみると、高度経済成長が続く産業社会下の体育では、運動の効果的特性論に立って、(6) という教育の理念があった。

- ア. 身体活動を通しての教育 イ. 身体教育 ウ. スポーツの中の教育
エ. スポーツを通しての教育

【問題 7】

1930 年代に出版されたヨハン・ホイジンハ著『(7)』は、古代ギリシャから続く西洋遊戯論の知的伝統の到達点といえる。

- ア. ホモ・エコノミクス イ. ホモ・エレクトス ウ. ホモ・サピエンス
エ. ホモ・ルーデンス

【問題 8】

文化は、日常用語としても、また学術用語としても、様々な意味で使われるが、最も広い意味に用いるのが (8) のものである。

- ア. 国際関係学 イ. 人文地理学 ウ. 比較文化学 エ. 文化人類学

【問題 9】

宮本武蔵は心の問題を重視して「常の心」を強調し、他方で兵法（剣術）に (9) 性を求めた。

- ア. 意外 イ. 芸術 ウ. 芸道 エ. 実用

【問題 10】

インドネシア共和国バリ島のケチャは、(10) に創造された。

- ア. 1910 年代 イ. 1930 年代 ウ. 1940 年代 エ. 1970 年代

Ⅱ.

各設問の空欄（ 11 ）から（ 20 ）にあてはまるものを、下記の語群から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

◆スポーツ産業は、伝統的に①スポーツ用品産業、②スポーツ施設・空間産業、③スポーツサービス・情報産業という 3 領域があるとされるが、スポーツ市場の拡大とともにそれぞれの領域が重なりをみせ、複合領域が出現した。こうして、①と③が重なってできた（ 11 ）、②と③が重なってできた（ 12 ）、そして①と②と③がすべて重なった（ 13 ）が出現した。

ア. スポーツ ITC 産業	イ. ハイブリッド産業	ウ. 施設・空間マネジメント産業
エ. スポーツ・健康産業	オ. e スポーツ産業	カ. スポーツ関連流通業

◆わが国のスポーツにかかわる以下の法制について、（ 14 ）～（ 17 ）に解答しなさい。

1961 年 わが国スポーツの基本となる（ 14 ）法が公布される

1998 年 （ 15 ）法が成立。これに基づき 2001 年よりサッカーくじ（toto）を発売する

2003 年 （ 16 ）法の改正により、指定管理者制度が始まる

2011 年 わが国のスポーツの基本となる（ 17 ）法成立

ア. 地方自治	イ. 憲	ウ. 新型宝くじ	エ. スポーツ基本	オ. 体育振興
カ. スポーツ振興	キ. 公共施設管理運営	ク. スポーツ抽選		
ケ. スポーツ振興投票	コ. スポーツ推進			

◆特定非営利活動促進法によって認証された特定非営利活動法人のことを通称（ 18 ）とよび、この法人格を取得するスポーツ関連団体も多数存在する。

ア. 公益社団法人	イ. 一般社団法人	ウ. NPO 法人	エ. 新公益法人
オ. 任意団体			

◆オリンピックが経済的に成立するようになったのは、（ 19 ）年の（ 20 ）大会からである。

ア. 1976	イ. 1984	ウ. 1988	エ. 1992	オ. 2000	カ. バルセロナ
キ. ソウル	ク. モントリオール	ケ. ロサンゼルス	コ. シドニー		

Ⅲ.

以下の（ 21 ）から（ 30 ）の問いに対して、正しいものには「ア」を、間違っているものには「イ」を選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- （ 21 ） 継続的な運動によりインスリン抵抗性が亢進する。
- （ 22 ） 分泌型 IgA の分泌量は高強度運動により一時的に低下する。
- （ 23 ） 貧血とは血液中のミオグロビンが減少した状態のことをいう。
- （ 24 ） 変形性関節症は関節軟骨の摩耗により生じる。
- （ 25 ） 疲労骨折は急性のスポーツ外傷に分類される。
- （ 26 ） 「身体活動」とは、安静にしている状態より多くのエネルギーを消費する全ての動きのことであり、体力の維持・向上を目的として計画的・意図的に実施する「運動」と、日常生活における労働、家事、通勤・通学などの「生活活動」から構成される。
- （ 27 ） 運動行動の変容ステージの「実行期」とは、健康への恩恵を得る望ましい水準で運動しているが、始めてから間もない（6 ヶ月以内）の段階である。
- （ 28 ） これまでのコホート研究で、身体活動と脳卒中発症リスク低下との関連は示されていない。
- （ 29 ） トレーナーの役割には、コンディショニングやリコンディショニングに加え、外傷・障害の診断やリハビリの指示も含まれる。
- （ 30 ） スポーツ現場において選手が傷害を受傷した際、緊急性がないと判断された場合にはバイタルサインを評価し、練習や試合の継続可否を判断する。

IV.

以下の空欄（ 31 ）から（ 40 ）に当てはまるものを、語群ア. からミ. のなかから 1 つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

骨格筋の筋線維の（ 31 ）に加え、伸ばされた腱組織に蓄積された（ 32 ）の影響によって大きなパワーを発揮できる。

脳内の情報処理は、刺激同定段階、（ 33 ）、反応プログラミング段階に大別され、この順序で進んでいく。

随意的に全力で力を発揮したつもりでも、発揮された力は（ 34 ）である。これは、筋を電気刺激した際に発揮される最大値よりも小さい。

大脳皮質運動系における運動指令の最終出力部位は（ 35 ）である。（ 35 ）は（ 36 ）まで直行する細胞を有し、この細胞を介して骨格筋収縮のための信号を伝達する。

血液が骨格筋においてガス交換した程度は、（ 37 ）に反映される。これは、骨格筋の（ 38 ）、および骨格筋の酸素を抜き取る能力に大きく影響を受ける。

血液による酸素運搬を担う（ 39 ）の量が低下すると、パフォーマンスが低下する。特に女子選手では（ 40 ）が競技力を低下させる要因になっている。

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| ア. 屈曲 | イ. 収縮 | ウ. 伸張 | エ. 主働筋 | オ. 拮抗筋 |
| カ. 剛性エネルギー | キ. 弾性エネルギー | ク. 位置エネルギー | ケ. 速度 | |
| コ. 刺激反応段階 | サ. 反応選択段階 | シ. 刺激応答段階 | ス. 心理的限界 | |
| セ. 生理的限界 | ソ. 疲労限界 | タ. 一次運動野 | チ. 前頭前野 | |
| ツ. 一次視覚野 | テ. 大脳基底核 | ト. 間脳 | ナ. 脊髄 | ニ. 動静脈酸素格差 |
| ヌ. 肺拡散能 | ネ. 酸素結合能 | ノ. ミオグロビン | ハ. ヘモグロビン | |
| ヒ. クロロフィル | フ. 毛細血管密度 | ヘ. コラーゲン | ホ. 再生不良性貧血 | |
| マ. 鉄欠乏性貧血 | ミ. 二次性貧血 | | | |

V.

各設問の空欄（ 41 ）から（ 50 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題 1】

スポーツ場面で、フィロソフィー「哲学・（ 41 ）」は根幹をなすものであり、コーチング場面で基軸として（ 42 ）的な理想を構築されつつあります。

ア. 技能	イ. 引退	ウ. 原理	エ. 絶対
オ. 相対	カ. 構築	キ. 支援	ク. 哲学

【問題 2】

一貫指導とは、同じ（ 43 ）が競技開始から引退まで同じ指導者と歩むことではなく、指導理念や（ 44 ）が、その時に見合った適切な指導と一致することです。そのためには、各年代に携わる指導者がアスリートの資質をとらえ、どのような指導を行っていくのが重要になります。

ア. 進路	イ. 体力	ウ. 競技者	エ. 競技レベル
オ. 方向性	カ. 技術	キ. 原理	ク. 原則

【問題 3】

トレーニングを効果的に進める上で、目的に合った計画を立てることが求められます。その際にはトレーニングの原理・原則を十分に考慮する必要があります。これらの中でも、とくに（ 45 ）サイクルの基本となっているのが漸進性と（ 46 ）です。

ア. PDCA	イ. トレーニング	ウ. TCA	エ. 論理
オ. 測定	カ. 過負荷	キ. 期分け	ク. 評価

【問題 4】

戦術は、日々の練習や（ 47 ）に反映されてくるものです。語源はギリシャ語の「（ 48 ）や編成の術」という“taktike”から由来するといわれています。自らまたはチームとして有利さを獲得する、もしくは有利さを妨げることを意味しています。

ア. トレーニング	イ. 男女	ウ. 相手	エ. 集合
オ. 作戦	カ. ゲーム	キ. 競争	ク. 配置

【問題 5】

(49) には、「うまくなりたい」「速く走りたい」など、心の内側から湧き出る「(50)」を刺激する特性があります。この (50) により、子ども達は時間を忘れてボールを追いかけて、アスリートは0.01秒のタイムを縮めるため厳しいトレーニングを続けられるのです。

- | | | | |
|------------|----------|---------|----------|
| ア. トレーニング | イ. こころ | ウ. スポーツ | エ. エネルギー |
| オ. 内発的動機づけ | カ. アナリスト | キ. 指導者 | ク. こども |

2023年度 修士課程
入学試験(秋期)
解答用紙〔一般〕

受験番号					
氏名					

※欄は記入しないで下さい。

I	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

※

II	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)

※

III	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)
	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)

※

IV	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)
	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)

※

V	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)

※

※
